

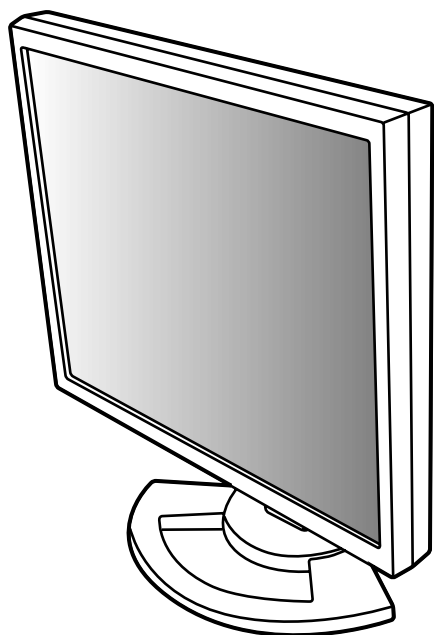
取扱説明書

液晶カラーモニター

形名 LL-T1815

もくじ

	ページ	
はじめに	安全にお使いいただくために	3
	付属品の確認	5
	各部の名前とはたらき	6
	高さ調整・角度調整・回転(縦長/横長)	7
準備	接続・電源入/切	8
	コンピュータの接続	8
	オーディオケーブル(付属品)の接続	10
	ヘッドホン(市販品)の接続	10
	電源の接続	10
	電源の入れかた	11
	入力端子の切り替え	11
画面調整	電源の切りかた	11
	画面調整・スピーカー音量調整について	12
	調整値のリセット	12
	調整ロック機能	12
	バックライトの明るさ調整	12
	スピーカーの音量調整	13
	製品情報の確認	13
	画面の調整(アナログ接続時)	14
	画面の自動調整	14
	画面の手動調整	15
画面の調整(デジタル接続時)	18	
画面調整のしかた	18	
補足	お手入れ・保管・アフターサービスについて	20
	お手入れのしかた	20
	保管にあたって	20
	故障かな?と思ったら	21
	アフターサービスについて	21
	お客様ご相談窓口のご案内	22
	仕様	23
	セットアップ情報とICCプロファイルについて(Windows)	26
	ColorSyncプロファイルについて(MacOS)	29
	VESA規格準拠アームの取り付けかた	30
Pivot Software(縦長表示/横長表示)について	31	



お買いあげいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
ご使用前に、「安全にお使いいただくために」を必ずお読みください。
この取扱説明書は、保証書とともに、いつでも見ることが出来る所に必ず保存してください。

TFT カラー液晶パネルは、非常に精密度の高い技術で作られておりますが、画面の一部に点灯しない画素や常時点灯する画素が存在する場合があります。また、見る角度によっては、色のムラや明るさのムラが生じる場合がありますが、いずれも液晶モニターの動作に影響を与える故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

長時間静止画を表示しないでください。残像の原因になることがあります。

輝度調整を最小にすると、見えにくいことがあります。

コンピュータ信号の質が表示品位に影響を与えることがあります。高品位の映像信号を出力できるコンピュータの使用をおすすめします。

本機は、日本国内用です。海外では使えません。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

正しい取り扱いをしても、電波の状況によりラジオやテレビジョン受信機の受信に影響を及ぼすことがあります。そのようなときは、次の点にご注意ください。

この製品をラジオ、テレビジョン受信機から十分に離してください。

この製品とラジオ、テレビジョン受信機を別のコンセントに接続してください。

なお、くわしくは、お買いあげの販売店、またはもよりのお客様ご相談窓口にご相談ください。

本書の表記について

本書では、Microsoft Windows XP を「WindowsXP」、Microsoft Windows 2000 を「Windows2000」、Microsoft Windows Millennium Edition を「WindowsMe」、Microsoft Windows 98 を「Windows98」、Microsoft Windows 95 を「Windows95」、Microsoft Windows Version3.1 を「Windows3.1」と表記します。また、これらを区別する必要のない場合は、総称して「Windows」と表記しています。

Microsoft、Windows は、米国マイクロソフト社の米国、およびその他の国における登録商標です。

Macintosh は、米国アップルコンピュータ社の登録商標です。

Pivot は、米国 Portrait Displays 社の登録商標です。

そのほか、本書で記載されている会社名や商品名は、各社の商標または登録商標です。

お願い

この製品は厳重な品質管理と検査を経て出荷しておりますが、万一故障または不具合がありましたら、お買いあげの販売店、またはもよりのご相談窓口までご連絡ください。

お客様または第三者がこの製品の使用誤り、使用中に生じた故障、その他不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

この製品は付属品を含め、改良のため予告なく変更することがあります。

付属品の形状が本書に記載の内容と多少異なることがあります。

安全にお使いいただくために

絵表示について

この取扱説明書には、安全にお使いいただくためのいろいろな絵表示をしています。その表示を無視して、誤った取り扱いをすることによって生じる内容を次のように区分しています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

人が死亡または重傷を負う恐れがある内容を示しています。



注意

人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示しています。

絵表示の意味

(絵表示の一例です。)



記号は、気を付ける必要があることを表しています。



記号は、してはいけないことを表しています。



記号は、しなければならないことを表しています。

警告

電源コードを傷つけたり、重い物を載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたりしないでください。また、加工しないでください。電源コードを傷め、火災や感電の原因になります。



雷が鳴り始めたら、落雷による火災や感電を防ぐために、モニターの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。



発熱したり、煙りが出たり、変なにおいがするなどの異常な状態で使用を続けると、火災や感電の原因になります。異常が起きたら、すぐにモニターの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、お買いあげの販売店にご連絡ください。



風通しの悪い場所、ほこりや湿気の多い場所、油煙や湯気の当たる場所では使用しないでください。火災の原因になります。



水などの液体がかからないようにしてください。また、クリップやピンなどの異物が機械の中に入らないようにしてください。火災や感電の原因になります。



注意

電源コードは、必ず付属のものを使用してください。付属以外のものを使用すると、火災の原因になることがあります。



電源は、AC100V(50/60Hz)のコンセントを使用してください。指定以外の電源を使用すると、火災の原因になることがあります。



電源プラグは、コンセントに直接差し込んでください。タコ足配線をする、過熱により火災の原因になることがあります。



火災や感電を防ぐために、次のことをお守りください。



電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。

夜間、旅行などで長時間使用しないときは、モニターの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源プラグや電源コードが熱いとき、またコンセントへの差し込みがゆるく電源プラグがぐらついているときは、使用をやめて、お買いあげの販売店にご相談ください。

ぐらつく台の上や、不安定な場所に置かないでください。また、強い衝撃や振動を与えないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因になることがあります。



⚠ 注意

直射日光の当たる場所や暖房器具の近くなど、高温になる場所で使用しないでください。発熱や発火の原因になることがあります。



硬いものでこすったり、たたいたりしないでください。破損してけがの原因になることがあります。



あお向け、横倒し、逆さまにして使用しないでください。熱がこもり、発熱や発火の原因になることがあります。



改造や分解はしないでください。また、お客様による修理はしないでください。火災や感電、けがの原因になることがあります。



健康のために、次のことをお守りください。



連続して使用する場合は、1時間ごとに10分から15分の休憩を取り、目を休ませてください。

明暗の差が大きい所では使用しないでください。

日光が画面に直接当たる所では使用しないでください。

移動するときは、電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続ケーブルを外してください。コードやケーブルが引っ掛かり、落ちたり、倒れたりしてけがの原因になることがあります。



年に一度を目安にモニター内部を清掃してください。(もよりのお客様ご相談窓口にご相談ください。)



内部にほこりがたまると、発熱や発火の原因になることがあります。



注意 持ち運ぶときは、ディスプレイ部とスタンド部の両方をしっかりと持ってください。

ディスプレイ部だけで持ち上げると、スタンドが急に伸びたり、スタンド部が揺れて、けがの原因になることがあります。また、本機を傾けると、スタンドが急に伸びて、けがの原因になることがあります。

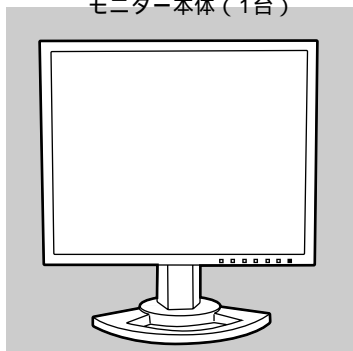


注意 ディスプレイ部とスタンド部の間(特に取り付け部分付近)で指をはさまないようにご注意ください。

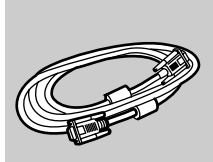
付属品の確認

箱の中に次のものが入っているか確かめてください。
 万一、不足のものがありましたら、お買いあげの販売店にご連絡ください。

モニター本体 (1台)

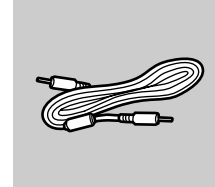


アナログ信号ケーブル (1本)

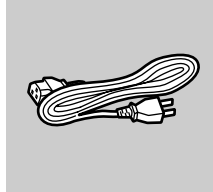


(両端：ミニD-sub15ピン)

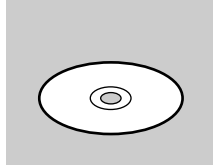
オーディオケーブル (1本)



電源コード (1本)

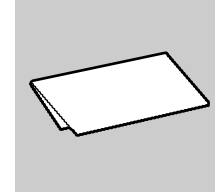


CD-ROM (1枚)



アプリケーションディスク
(Windows/Macintosh用)

クリーニングクロス (1枚)



取扱説明書 (1部)

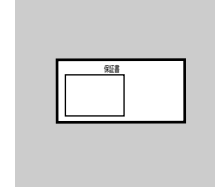


(本書)

集配修理サービス
「修理宅配便」(有料)のご案内 (1部)



保証書 (1部)



梱包箱は、輸送などに備えて保管しておいてください。
 ユーティリティ(アプリケーションディスク内)のプログラムの著作権は、シャープ(株)が保有しています。許可なく複製しないでください。

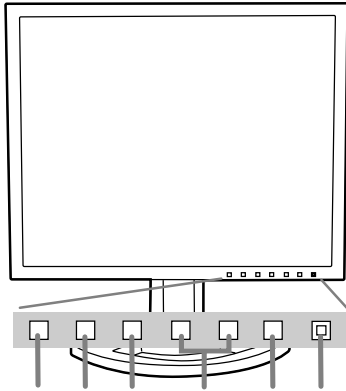
別売品のご案内

当社製品販売店にて品名、形名を指定のうえ、お買い求めください。
 希望小売価格は、2002年8月現在のものです。また消費税は含まれていません。
 希望小売価格は予告なく変更することがあります。

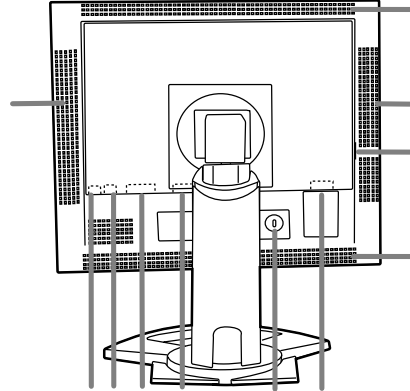
品名	形名	希望小売価格
ディスプレイ(デジタル信号)ケーブル DVI-D 24ピン — DVI-D 24ピン	NL-C01J	3,800円
ディスプレイ(アナログ信号)ケーブル DVI-I 29ピン — ミニD-sub 15ピン	NL-C02J	3,800円
ディスプレイ(2入力用)ケーブル DVI-I 29ピン — DVI-D 24ピン ミニD-sub 15ピン	NL-C03J	3,800円

各部の名前とはたらき

前面



背面



INPUT ボタン

信号の入力端子を切り替えます。

MENU ボタン

調整メニューの表示、切り替え、消去を行います。

▼ ボタン

調整メニューが表示されているとき、調整項目の選択に使用します。

◀▶ ボタン

調整メニューが表示されているときは、調整項目の選択や調整値の増減に使用します。

調整メニューが表示されていないときは、バックライトの明るさやスピーカー音量を調整します。

電源ボタン

電源ランプ

通常表示時は緑色に、パワーセーブ時はオレンジ色に点灯します。

スピーカー

本機と接続している外部機器から入る音声を聞くことができます。

ヘッドホン端子

市販のヘッドホンを接続することができます。

オーディオ入力端子

付属のオーディオケーブルを使って、コンピュータのオーディオ出力端子と接続します。

DVI-I 入力端子 (INPUT-2)

コンピュータのデジタル RGB 出力端子やアナログ RGB 出力端子と接続します。

接続には、別売のケーブルが必要です。(5 ページ)

デジタル接続の場合、DVI 準拠の出力端子(DVI-D 24 ピンまたは DVI-I 29 ピン)を持ち、SXGA 出力が可能なコンピュータと接続することができます。(ただし、接続するコンピュータによっては正しく表示されないことがあります。)

アナログ RGB 入力端子 (INPUT-1)

付属のアナログ信号ケーブルを使って、コンピュータのアナログ RGB 出力端子と接続します。

盗難防止ホール(🔒)

市販の盗難防止ロックを接続すると、本体を持ち運べないように固定することができます。

盗難防止ホールは、マイクロサーバーセキュリティシステム等のセキュリティワイヤーに対応しています。

製品についてのお問い合わせ先：

日本ポラデジタル株式会社 〒104-0032 東京都中央区八丁堀 1-5-2 はごろもビル

Tel : 03-3537-1070 Fax : 03-3537-1071 URL : <http://www.poladigital.co.jp>

電源端子

主電源スイッチ

通風孔

通風孔をふさがないでください。内部に熱がこもり、故障の原因になります。

高さ調整・角度調整・回転(縦長/横長)

！ご注意

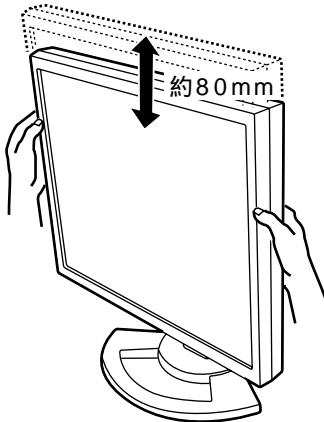
ディスプレイ部を動かすときは、必ず枠の部分を持ってください。液晶パネルに手を当てて力を加えると、破損の原因になります。



指などをはさまないようにご注意ください。

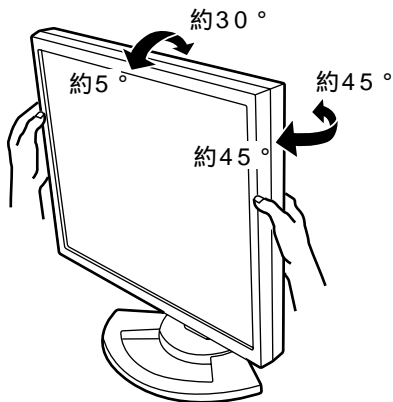
高さ調整

見やすい高さに調整します。



角度調整

見やすい角度に調整します。



回転(縦長/横長)

表示内容に合わせて、ディスプレイ部を縦長/横長に回転させることができます。

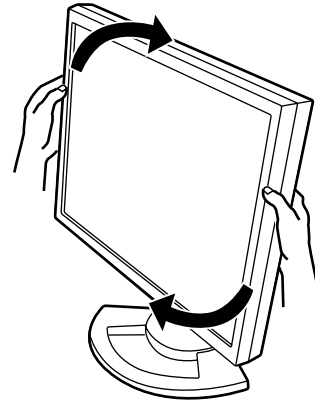
！ご注意

回転させる前にディスプレイ部を一番高い位置に動かしておいてください。低い位置で回転させると、スタンド部と接触し、故障などの原因になります。ディスプレイ部は、90°の範囲を超えて回転させることはできません。無理に力を加えると、故障などの原因になります。

ケーブルが接続されている場合は、ケーブルに無理な力が加わらないようにしてください。

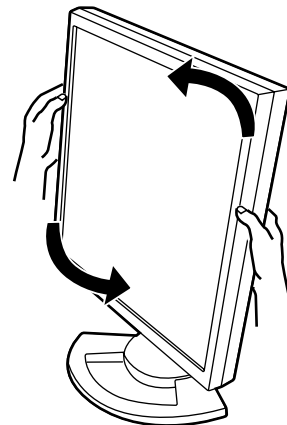
縦長にする...

時計回りに静かに回します。(90°まで)



横長にする...

反時計回りに静かに回します。(90°まで)



? Memo

表示の向きは、Pivot Software を利用して切り替えます。(31 ページ)

接続・電源入/切

！ご注意

接続は、モニターおよびコンピュータの電源を切った状態で行ってください。

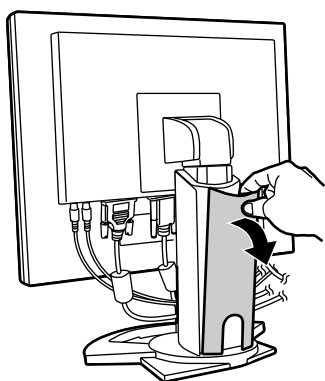
ケーブルを無理に曲げたり、ケーブルに力が加わらないようにしてください。断線などの故障の原因になります。

ケーブルの収納について

ケーブルは、必要に応じてスタンドに収納することができます。

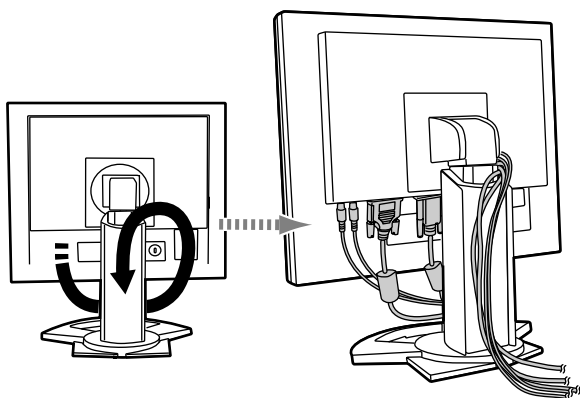
1. カバーを外す。

カバー上部を静かに手前に引きます。



2. スタンドの背面にケーブルを沿わせる。

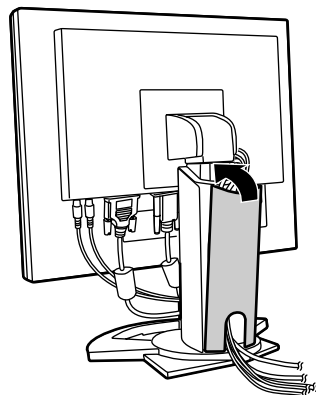
ケーブルは、スタンド部の前面を通してから背面に回してください。



ディスプレイ部を回転させて使用する場合は、縦長にしたときケーブルが届くように、あらかじめディスプレイ部を縦長にしてから収納してください。

3. カバーを取り付ける。

ケーブルをはさまないように注意してください。



カバーが取り付けにくいときは、無理に取り付けずに、ケーブルがはさまれていないかを確認してください。

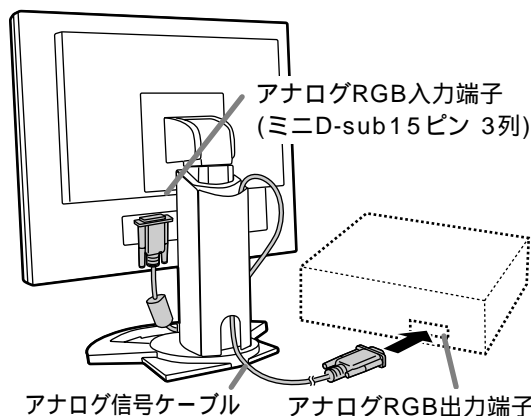
！ご注意

ディスプレイ部を回転させて使用する場合は、ケーブルの収納後、ディスプレイ部を静かに回転させてみてください。回転できない場合は、ケーブルに余裕を持たせるように収納し直してください。(ケーブルが引っ張られすぎていると、回転できません。無理に回転させると、断線などの原因になります。)

コンピュータの接続

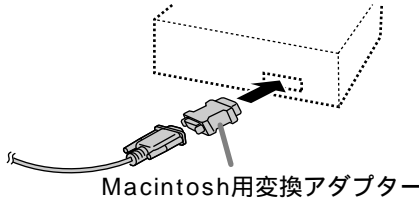
付属のアナログ信号ケーブルでの接続

付属のアナログ信号ケーブルを使って、コンピュータのアナログRGB出力端子と接続します。



コネクタの向きを確かめて奥まで差し込んだあと、両側のネジで固定します。

D-sub15 ピン 2 列の Power Macintosh とアナログ接続をする場合は、アナログ信号ケーブルのコンピュータ側コネクタに Macintosh 用変換アダプター(市販品)を取り付けます。



別売のデジタル信号ケーブル / アナログ信号ケーブルでの接続

別売のディスプレイケーブルを使って、コンピュータのデジタル RGB 出力端子やアナログ RGB 出力端子と接続します。

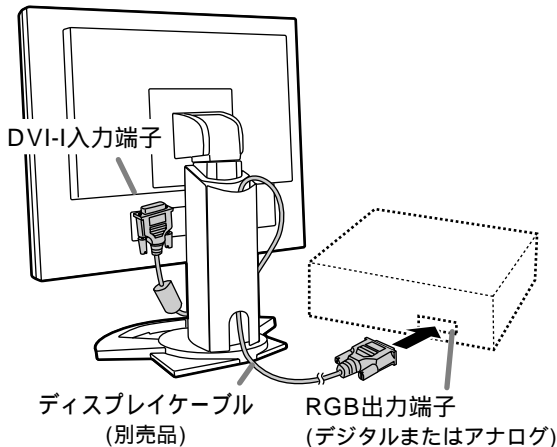
デジタル RGB 出力端子と接続する場合：

デジタル信号ケーブル(形名：NL-C01J)を使用。

DVI 準拠の出力端子(DVI-D24 ピンまたは DVI-I 29 ピン)を持ち、SXGA 出力が可能なコンピュータと接続することができます。(ただし、接続するコンピュータによっては正しく表示されないことがあります。)

アナログ RGB 出力端子と接続する場合：

アナログ信号ケーブル(形名：NL-C02J)を使用。



コネクタの向きを確かめて奥まで差し込んだあと、両側のネジで固定します。

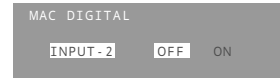
? Memo

デジタル信号ケーブル、またはアナログ信号ケーブル使用時は、「INPUT-2」を「1LINE」に設定してください。(17、19 ページ)

Belkin 製 ADC-DVI アダプタを使用して Power Mac とデジタル接続をする場合は、本機で次の設定を行ってください。(Power Mac G4 M7627J/A で動作確認済み)

設定は、Power Mac 本体の電源を切った状態で行ってください。

1. 電源コード接続後、本機の主電源を入れる。
2. ◀ ボタンと ▶ ボタンの両方を押しながら、電源ボタンを押す(本機の電源を入れる)。次のメニューが表示されます。

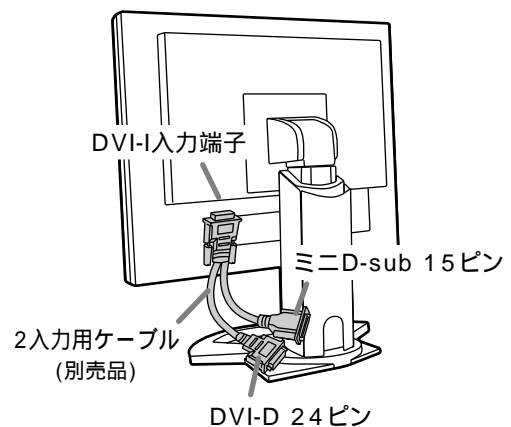


3. ▶ ボタンを押して「ON」を選択する。
Belkin 製 ADC-DVI アダプタを使用しないときは、「ON」に設定しないでください。正しく表示されなくなることがあります。
4. 電源ボタンを押して、いったん本機の電源を切る。
以上で設定は完了です。

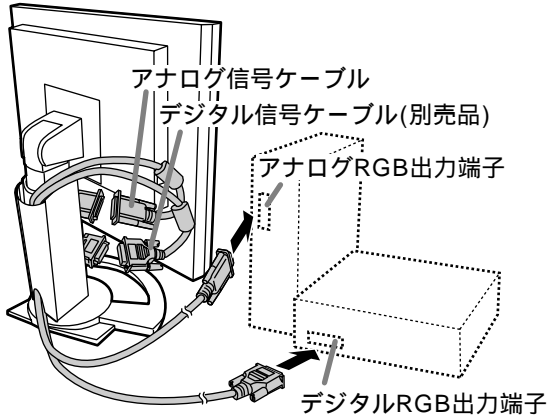
別売の 2 入力用ケーブルでの接続

別売の 2 入力用ケーブル(形名：NL-C03J)を使って、2 系統の接続ができます。

- 1.2 入力用ケーブル(別売品)を本機の DVI-I 入力端子に接続する。



2.2 入力ケーブルにアナログ信号ケーブル、デジタル信号ケーブル(別売品)を接続し、コンピュータと接続する。



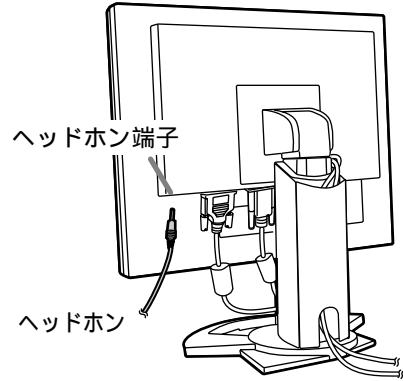
コネクタの向きを確かめて奥まで差し込んだあと、両側のネジで固定します。

? Memo

2 入力ケーブル使用時は、「INPUT-2」を「2LINES」に設定してください。(17、19 ページ)
2 入力ケーブルのミニ D-sub コネクタに接続したモニターは、プラグアンドプレイによる自動認識ができません。手動でセットアップ情報の格納(27 ページ)を行ってください。

ヘッドホン(市販品)の接続

ヘッドホン(市販品)を接続することができます。

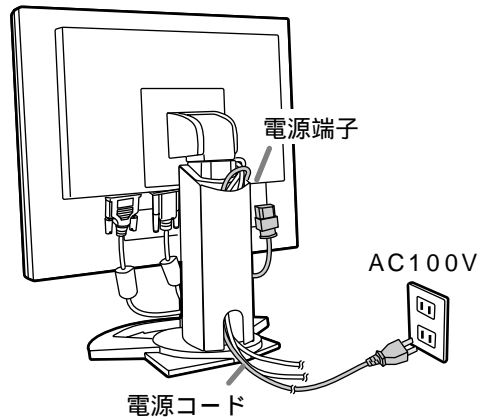


? Memo

ヘッドホンを接続すると、本機のスピーカーからは音が聞こえなくなります。

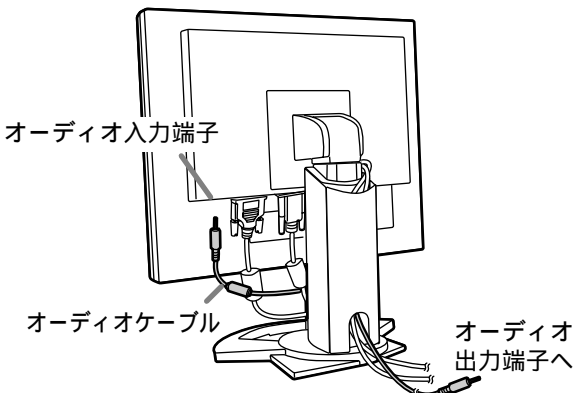
電源の接続

電源コードは、必ず付属のものを使用してください。



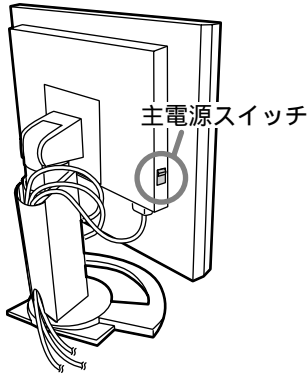
オーディオケーブル(付属品)の接続

付属のオーディオケーブルをコンピュータのオーディオ出力端子と接続すると、接続したコンピュータの音が本機のスピーカーから出力されます。また、本機のヘッドホン端子を利用することができます。



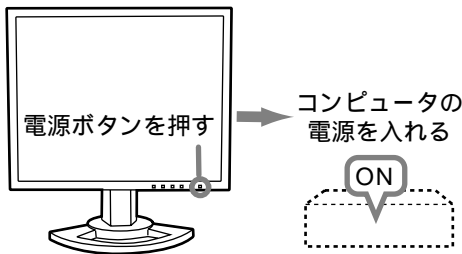
電源の入れかた

1. モニターの主電源を入れる。



主電源スイッチ入/切の切り替えは、必ず約5秒以上の間隔を空けて行ってください。急に切り替えると、故障や誤動作の原因になります。

2. モニターの電源ボタンを押す。
電源ランプがオレンジ色に点灯します。
3. コンピュータの電源を入れる。



コンピュータからの信号が入力されると、電源ランプが緑色に点灯し、画面が表示されます。(電源を入れたあと、画面が表示されるまでに少し時間がかかることがあります。)

コンピュータが接続されている入力端子が選択されていないと、画面は表示されません。必要に応じて、入力端子の切り替えを行ってください。(右記)

? Memo

アナログ接続の場合...

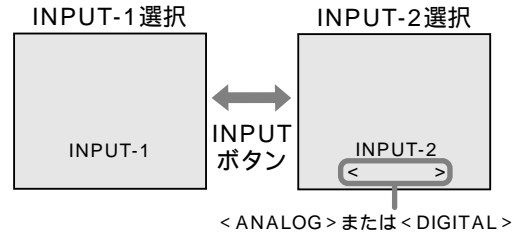
本機を初めて使用するときや、使用中のシステムの設定を変更したときは、画面の自動調整(14ページ)を行ってください。(デジタル接続の場合は、特に調整の必要はありません。)

ノートパソコンと接続して、ノートパソコン画面と同時表示するように設定されていると、MS-DOS画面が正しく表示できないことがあります。その場合は、本機でのみの表示となるように設定してください。

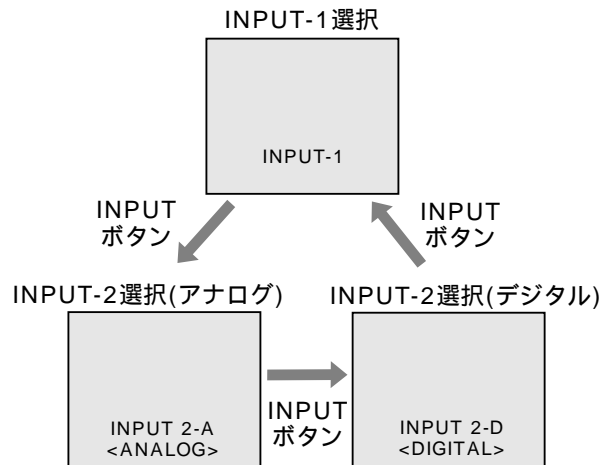
入力端子の切り替え

INPUT ボタンで、信号の入力端子を切り替えます。

- 2 入力用ケーブル未使用時



- 2 入力用ケーブル使用時

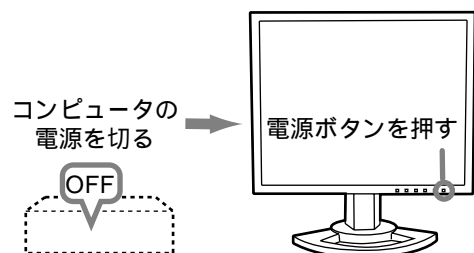


? Memo

入力信号がない場合、「NO SIGNAL」と表示されます。

電源の切りかた

1. コンピュータの電源を切る。
2. モニターの電源ボタンを押す。
電源ランプが消灯します。



長時間使用しないときは、モニターの主電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

画面調整・スピーカー音量調整について

アナログ接続時

1. 初めに自動調整をする。(14 ページ)
2. 必要に応じて手動調整をする。(15 ページ)

デジタル接続時

基本的には、調整をしなくてもお使いいただけます。
必要に応じて手動調整ができます。(18 ページ)

? Memo

調整内容は、電源を切っても保持されます。

調整値のリセット

調整値のオールリセット

すべての調整値を、工場出荷時の状態に戻すことができます。

1. 本機の電源を切る。
2. MENU ボタンと ▼ ボタンの両方を押しながら、電源ボタンを押す(電源を入れる)。画面に「ALL RESET」と表示されて、リセットが完了します。

? Memo

「ALL RESET」の表示中は、操作ボタンは効きません。

調整ロックが設定されている場合、オールリセットはできません。調整ロックを解除してから操作してください。

ADJUSTMENT メニューのリセット

アナログ接続時の ADJUSTMENT メニューの調整値を、工場出荷時の状態に戻すことができます。

1. 本機の電源を入れる。
2. MENU ボタンと ◀ ボタンの両方を押す。画面に「RESET」と表示されて、リセットが完了します。

調整ロック機能

操作ボタンを効かなくして(ロック設定)、調整後の内容の変更を防ぐことができます。

1. 本機の電源を切る。
2. MENU ボタンを押しながら、電源ボタンを押す(電源を入れる)。画面に「ADJUSTMENT LOCKED」と表示されるまでボタンを押し続けてください。「ADJUSTMENT LOCKED」と表示されたら、ロック設定が完了します。

ロック設定の解除

1. 本機の電源を切る。
2. MENU ボタンを押しながら、電源ボタンを押す(電源を入れる)。画面に「ADJUSTMENT UNLOCKED」と表示されるまで、ボタンを押し続けてください。「ADJUSTMENT UNLOCKED」と表示されたら、ロックが解除されます。

? Memo

ロック設定をすると、電源ボタン以外のボタンは効かなくなります。

バックライトの明るさ調整

調整メニューが表示されていない状態で操作します。調整メニューが表示されている場合は、MENU ボタンを押して(場合によっては数回)、調整メニューを消してから操作してください。

1. 調整メニューが表示されていない状態で、◀または▶ ボタンを押す。



2. 「BRIGHT」を選択する。(▼ ボタン)
3. ◀ ボタン(暗くする)、▶ ボタン(明るくする)を押して調整する。

? Memo

調整用の表示は、最後のボタン操作から数秒後に自動的に消えます。

スピーカーの音量調整

調整メニューが表示されていない状態で操作します。調整メニューが表示されている場合は、MENU ボタンを押して(場合によっては数回)、調整メニューを消してから操作してください。

1. 調整メニューが表示されていない状態で、◀ または ▶ ボタンを押す。



2. 「VOLUME」を選択する。(▼ ボタン)
3. ◀ ボタン(小さくする)、▶ ボタン(大きくする)を押して調整する。

? Memo

調整用の表示は、最後のボタン操作から数秒後に自動的に消えます。

製品情報の確認

本機の機種名(MODEL)、シリアル No.(S/N)、使用時間(USAGE TIME)を確認することができます。

1. 本機の電源を切る。
2. ▼ ボタンを押しながら、電源ボタンを押す(電源を入れる)。
3. 確認終了：MENU ボタン

? Memo

使用時間(USAGE TIME)は、工場での出荷時検査等で使用のために、「0」になっていないことがあります。

画面の調整(アナログ接続時)

画面の自動調整

ADJUSTMENTメニューのCLOCK(クロック)、PHASE(位相)、H-POS(水平位置)、V-POS(垂直位置)を自動的に調整します。

? Memo

本機を初めて使用する時や、使用中のシステムの設定を変更したときは、ご使用前に自動調整を行ってください。

自動調整のための画面表示について

自動調整を行うために、あらかじめ画面全体が明るくなるような画像を表示してください。

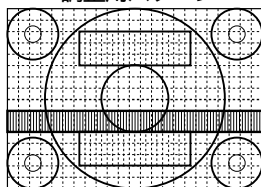
Windowsをご使用の場合は、本機に付属のCD-ROM内の調整用パターン(Windows専用)が利用できます。

調整用パターン(Windows専用)の呼び出しはWindows 95/98/Me/2000/XPを基準に、CD-ROMドライブを「Dドライブ」として説明します。

1. 付属のCD-ROMをコンピュータのCD-ROMドライブにセットする。
2. 「マイコンピュータ」のCD-ROMを開く。
Windows 3.1の場合は、「ファイルマネージャ」を開き、「Dドライブ」を選択します。
3. 「Adj_uty.exe」をダブルクリックして、調整用プログラムを起動する。

調整用パターンが表示されます。

<調整用パターン>



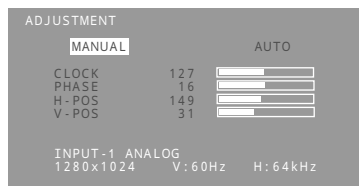
調整終了後は、コンピュータの[ESC]キーを押して、調整用プログラムを終了してください。

? Memo

使用するコンピュータの表示モードが6万5千色の場合、カラーパターンの各色の階調が異なって見えたり、グレースケールが色付きに見えることがあります。(入力信号の仕様によるもので、故障ではありません。)

自動調整のしかた

1. MENUボタンを押す。
ADJUSTMENTメニューが表示されます。



2. ▶ ボタンを押して「AUTO」を選択する。
画面が黒くなり、「ADJUSTING」と表示され、数秒後にADJUSTMENTメニューに戻ります。
(これで自動調整は完了です。)
3. MENUボタンを5回押して、調整メニューを消す。

? Memo

通常は、自動調整だけでご使用いただけます。自動調整後、次のような場合は必要に応じて手動調整(15ページ)を行ってください。

- ・さらに微調整が必要なとき
- ・コンピュータからの信号がコンポジット・シンクやシンク・オン・グリーンของときなど(自動調整では、正しく調整できないことがあります。)
- ・「OUT OF ADJUST」と表示されたとき(画面全体が極端に暗い場合など、表示中の内容によっては自動調整ができないことがあります。再度、自動調整をする場合は、調整用パターンを利用するか、画面全体が明るくなるような画像に変えてみてください。)

画面の手動調整

用意されている調整メニューを利用して、画面の調整をします。

調整のための画面表示について

Windowsをご使用の場合は、付属のCD-ROMから調整用パターン(Windows専用)を呼び出してください。(14ページ)

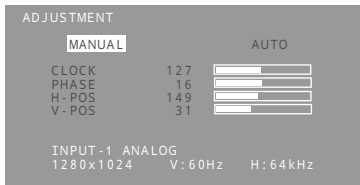
Windows以外の場合、調整用パターンは利用できません。画面全体が明るくなるような画像を表示して、実際の画面を見ながら調整してください。

本書では、調整用パターン(Windows専用)を利用した調整のしかたを基本に説明します。

手動調整のしかた

1. MENU ボタンを押す。

ADJUSTMENTメニューが表示されます。



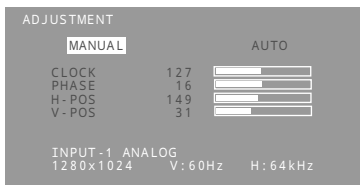
2. MENU ボタンを押しながら必要な項目を調整する。

MENU ボタンを押すごとにメニューが切り替わります。(ADJUSTMENT GAIN CONTROL COLOR CONTROL MODE SELECT-1 MODE SELECT-2 メニュー表示消)

? Memo

調整メニューは、最後のボタン操作から約30秒後に自動的に消えます。

ADJUSTMENTメニュー



MANUAL .. 必要な項目を手動で調整します。

AUTO 各項目を自動的に調整します。

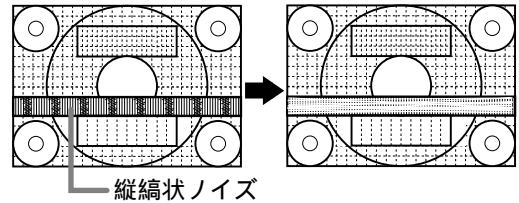
▶ ボタンを押すと、「AUTO」の選択になります。

項目の選択 : ▼ ボタン

次のメニューへ : MENU ボタン

CLOCK(クロック)

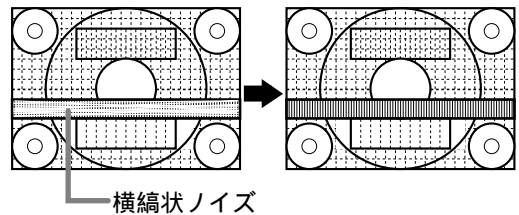
下図の部分に縦縞状のノイズが出ないように調整します。(◀▶ ボタン)



PHASE(位相)

下図の部分に横縞状のノイズが出ないように調整します。(◀▶ ボタン)

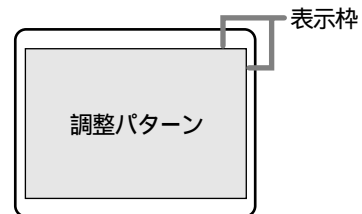
「PHASE」の調整は、必ず「CLOCK」を正しく調整したあとで行ってください。



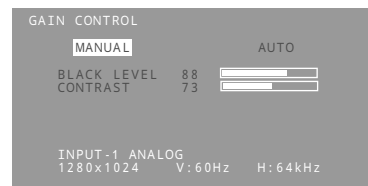
H-POS(水平位置)、V-POS(垂直位置)

調整パターンの全体が画面内に表示されるように、左右(H-POS)、上下(V-POS)の位置を調整します。

(◀▶ ボタン)



GAIN CONTROLメニュー



MANUAL .. 必要な項目を手動で調整します。

AUTO オートゲインコントロール機能*で、各項目を自動的に調整します。自動調整後、必要に応じて手動調整をしてください。

▶ ボタンを押すと、「AUTO」の選択になります。

項目の選択 : ▼ ボタン

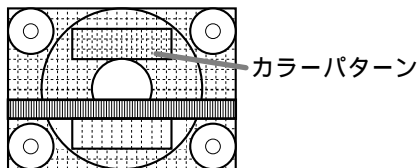
次のメニューへ : MENU ボタン

* オートゲインコントロール機能

- ・画面に表示中の最も明るい色を基準に黒レベル、コントラストが調整されます。調整パターンを利用しないときは、5mm x 5mm 以上の白色が表示されている必要があり、表示がない場合は調整できないことがあります。(その場合、「OUT OF ADJUST」と表示され、設定値は変化しません。)
- ・コンピュータからの信号がコンポジット・シンクやシンク・オン・グリーンのときは、自動調整ができません。その場合は、手で調整してください。

BLACK LEVEL(黒レベル)

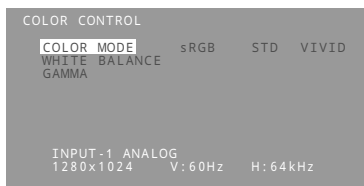
カラーパターンを見ながら、画面全体の明るさを調整します。(◀▶ ボタン)



CONTRAST(コントラスト)

カラーパターンを見ながら、すべての階調が表示されるように調整します。(◀▶ ボタン)

COLOR CONTROL メニュー



項目の選択 : ▼ ボタン
次のメニューへ : MENU ボタン

COLOR MODE

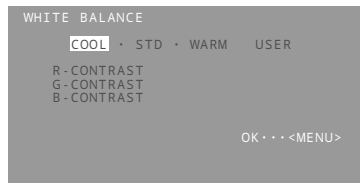
表示の色合いを設定します。(◀▶ ボタン)

- sRGB IEC(International Electrotechnical Commission)が規定した色再現性の国際規格です。液晶の特性を考慮した色変換が行われ、原画像に基づいた色合いでの表示になります。
- STD 液晶モニター本来の色合いを活かした表示になります。
- VIVID 原色をダイナミックに表示します。

以降の項目は、「COLOR MODE」が「STD」の場合に設定できます。

WHITE BALANCE

「WHITE BALANCE」選択後、▶ ボタンを押して、調整メニューを表示します。



「STD」以外では、すべての階調を表示することはできません。すべての階調を表示したいときは、「STD」に設定してください。

◀▶ ボタンで「COOL」「STD」「WARM」「USER」を選びます。

「USER」を選ぶと、「R-CONTRAST」、「G-CONTRAST」、「B-CONTRAST」の設定値が表示され、微調整ができます。

▼ ボタンで「R-CONTRAST」「G-CONTRAST」「B-CONTRAST」を選びます。
調整終了 : MENU ボタン

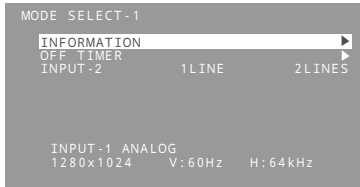
- COOL 標準設定よりも青みがかった色
..... 標準設定よりもやや青みがかった色
- STD 標準設定
..... 標準設定よりもやや赤みがかった色
- WARM 標準設定よりも赤みがかった色
- USER

- R-CONTRAST ◀ ボタンで青緑色、
▶ ボタンで赤色
- G-CONTRAST ◀ ボタンで紫色、
▶ ボタンで緑色
- B-CONTRAST ◀ ボタンで黄色、
▶ ボタンで青色

GAMMA

暗い画像や明るい画像が見やすくなるように調整します。暗くて見えにくい場合は数値を上げ、明るくて見えにくい場合は数値を下げます。(◀▶ ボタン)

MODE SELECT-1 メニュー



項目の選択 : ▼ ボタン
次のメニューへ : MENU ボタン

INFORMATION

本機の機種名(MODEL)、シリアル No.(S/N)、使用時間(USAGE TIME)を確認することができます。

「INFORMATION」選択後、▶ ボタンを押します。(確認終了 : MENU ボタン)

OFF TIMER

一定時間で本機の電源を自動的に切ることができます。「OFF TIMER」選択後、▶ ボタンを押し、◀▶ ボタンで「ON」「OFF」を設定します。「ON」の場合は、▼ ボタンを押し、◀▶ ボタンで切断時間(1 ~ 23 時間の範囲で 1 時間単位)を設定します。(設定終了 : MENU ボタン)

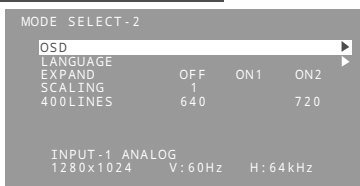
「ON」の場合、切断 5 分前から画面右上に残り時間が表示されます(1 分単位で約 5 秒間)。残り時間の表示から電源が切れるまでの間に電源ボタンを押すと、一時的に自動切断が解除されます。以降、電源を切る場合は、再度、電源ボタンを押してください。(次に電源を入れたあとは、設定時間で自動切断されます。)

INPUT-2

本機の DVI-I 入力端子(INPUT-2)にデジタル信号ケーブルまたはアナログ信号ケーブルを接続している場合は「1LINE」、2 入力用ケーブルを接続している場合は「2LINES」に設定します。(◀▶ ボタン)

接続と設定が合っていない場合、正しく表示されません。

MODE SELECT-2 メニュー



入力信号の解像度によっては、項目の選択ができません、表示状態が変わらないことがあります。
項目の選択 : ▼ ボタン
調整終了 : MENU ボタン

OSD

「OSD」選択後、▶ ボタンを押します。

OSD H-POSITION :

調整メニューの位置を左右に動かします。(◀▶ ボタン)

OSD V-POSITION :

調整メニューの位置を上下に動かします。(◀▶ ボタン)

OSD PIVOT :

調整メニューの表示の向きを変えます。(◀▶ ボタン)

ON 縦長表示用の向きになります。

OFF 横長表示用の向きになります。

LANGUAGE

画面に表示されるメッセージや調整メニューの言語を変更することができます。

「LANGUAGE」選択後、▶ ボタンを押し、▼ ボタンで言語を選択します。(設定終了 : MENU ボタン)

EXPAND(画面拡大)

1280 × 1024 未満の表示モードの内容に対して、拡大表示の選択をします。(◀▶ ボタン)

OFF 拡大しない

ON1 アスペクト比(縦横比)固定で拡大

ON2 画面全体に拡大

拡大しても 1280 × 1024 にならない場合は、周囲が黒く表示されます。(故障ではありません。)

SCALING(拡大補正レベル)

「EXPAND」が「ON1」または「ON2」のとき、拡大表示の画像のシャープさを調整することができます。(◀▶ ボタン)

400 LINES(解像度)

PC9800 シリーズや US TEXT 等の 400 ライン画面の水平解像度を設定します。(◀▶ ボタン)

640 640 × 400 ドットモード
(PC9800 シリーズなど)

720 720 × 400 ドットモード
(US TEXT など)

400 ライン以外の解像度の入力の場合、設定の必要はありません。(自動検出が行われます。)

画面の調整(デジタル接続時)

画面調整のしかた

用意されている調整メニューを利用して、画面の調整をします。

調整のための画面表示について

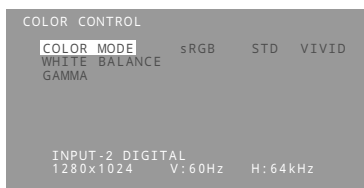
Windows をご使用の場合は、付属の CD-ROM から調整用パターン(Windows 専用)を呼び出してください。(14 ページ)

Windows 以外の場合、調整用パターンは利用できません。画面全体が明るくなるような画像を表示して、実際の画面を見ながら調整してください。

調整のしかた

1. MENU ボタンを押す。

COLOR CONTROL メニューが表示されます。



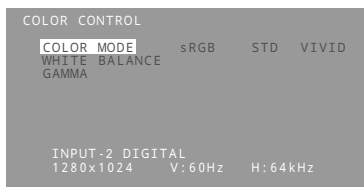
2. MENU ボタンを押しながら必要な項目を調整する。

MENU ボタンを押すごとにメニューが切り替わります。(COLOR CONTROL MODE SELECT-1 MODE SELECT-2 メニュー表示消)

? Memo

調整メニューは、最後のボタン操作から約 30 秒後に自動的に消えます。

COLOR CONTROL メニュー



項目の選択 : ▼ ボタン

次のメニューへ : MENU ボタン

COLOR MODE

表示の色合いを設定します。(◀▶ ボタン)

sRGB IEC(International Electrotechnical Commission)が規定した色再現性の国際規格です。液晶の特性を考慮した色変換が行われ、原画像に基づいた色合いでの表示になります。

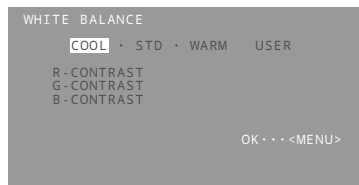
STD 液晶モニター本来の色合いを活かした表示になります。

VIVID 原色をダイナミックに表示します。

以降の項目は、「COLOR MODE」が「STD」の場合に設定できます。

WHITE BALANCE

「WHITE BALANCE」選択後、▶ ボタンを押して、調整メニューを表示します。



「STD」以外では、すべての階調を表示することはできません。すべての階調を表示したいときは、「STD」に設定してください。

◀▶ ボタンで「COOL」「STD」「WARM」「USER」を選びます。

「USER」を選ぶと、「R-CONTRAST」、「G-CONTRAST」、「B-CONTRAST」の設定値が表示され、微調整ができます。

▼ ボタンで「R-CONTRAST」「G-CONTRAST」「B-CONTRAST」を選びます。

調整終了 : MENU ボタン

COOL 標準設定よりも青みがかった色

..... 標準設定よりもやや青みがかった色

STD 標準設定

..... 標準設定よりもやや赤みがかった色

WARM 標準設定よりも赤みがかった色

USER

R-CONTRAST ◀ ボタンで青緑色、

▶ ボタンで赤色

G-CONTRAST ◀ ボタンで紫色、

▶ ボタンで緑色

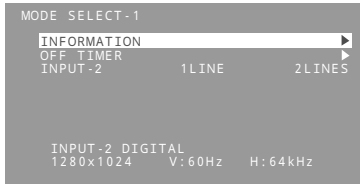
B-CONTRAST ◀ ボタンで黄色、

▶ ボタンで青色

GAMMA

暗い画像や明るい画像が見やすくなるように調整します。暗くて見えにくい場合は数値を上げ、明るくて見えにくい場合は数値を下げます。(◀▶ ボタン)

MODE SELECT-1 メニュー



項目の選択 : ▼ ボタン
次のメニューへ : MENU ボタン

INFORMATION

本機の機種名(MODEL)、シリアル No.(S/N)、使用時間(USAGE TIME)を確認することができます。

「INFORMATION」選択後、▶ ボタンを押します。(確認終了 : MENU ボタン)

OFF TIMER

一定時間で本機の電源を自動的に切ることができます。「OFF TIMER」選択後、▶ ボタンを押し、◀▶ ボタンで「ON」「OFF」を設定します。「ON」の場合は、▼ ボタンを押し、◀▶ ボタンで切断時間(1 ~ 23 時間の範囲で 1 時間単位)を設定します。(設定終了 : MENU ボタン)

「ON」の場合、切断 5 分前から画面右上に残り時間が表示されます(1 分単位で約 5 秒間)。

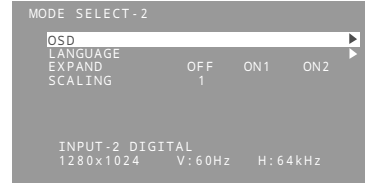
残り時間の表示から電源が切れるまでの間に電源ボタンを押すと、一時的に自動切断が解除されます。以降、電源を切る場合は、再度、電源ボタンを押してください。(次に電源を入れたあとは、設定時間で自動切断されます。)

INPUT-2

本機の DVI-I 入力端子(INPUT-2)にデジタル信号ケーブルまたはアナログ信号ケーブルを接続している場合は「1LINE」、2 入力用ケーブルを接続している場合は「2LINES」に設定します。(◀▶ ボタン)

接続と設定が合っていない場合、正しく表示されません。

MODE SELECT-2 メニュー



入力信号の解像度によっては、項目の選択ができません、表示状態が変わらないことがあります。

項目の選択 : ▼ ボタン
調整終了 : MENU ボタン

OSD

「OSD」選択後、▶ ボタンを押します。

OSD H-POSITION :

調整メニューの位置を左右に動かします。(◀▶ ボタン)

OSD V-POSITION :

調整メニューの位置を上下に動かします。(◀▶ ボタン)

OSD PIVOT :

調整メニューの表示の向きを変えます。(◀▶ ボタン)
ON 縦長表示用の向きになります。
OFF 横長表示用の向きになります。

LANGUAGE

画面に表示されるメッセージや調整メニューの言語を変更することができます。

「LANGUAGE」選択後、▶ ボタンを押し、▼ ボタンで言語を選択します。(設定終了 : MENU ボタン)

EXPAND(画面拡大)

1280 × 1024 未満の表示モードの内容に対して、拡大表示の選択をします。(◀▶ ボタン)

OFF 拡大しない

ON1 アスペクト比(縦横比)固定で拡大

ON2 画面全体に拡大

拡大しても 1280 × 1024 にならない場合は、周囲が黒く表示されます。(故障ではありません。)

SCALING(拡大補正レベル)

「EXPAND」が「ON1」または「ON2」のとき、拡大表示の画像のシャープさを調整することができます。(◀▶ ボタン)

お手入れ・保管・アフターサービスについて

お手入れのしかた

お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

キャビネットや操作パネル部分

キャビネットや操作パネル部分の汚れは、乾いた柔らかい布で軽く拭き取ってください。

汚れがひどいときは、柔らかい布を水で薄めた中性洗剤に浸し、よく絞ってから汚れを拭き取ってください。

液晶パネル部分

液晶パネルの表面の汚れやホコリは、乾いた柔らかい布で軽く拭き取ってください。(レンズクリーナーやガーゼなどの柔らかい布でもかまいません。)

！ ご注意

シンナー、ベンジン、アルコール、ガラスクリーナー等は絶対に使用しないでください。変色や変形の原因になります。

硬いものでこすったり、強い力を加えないでください。傷が付いたり、故障の原因になります。

? Memo

本機で使用している蛍光管には水銀が含まれています。本機を廃棄するときは、地方自治体の条例・規則に従ってください。詳しくは各地方自治体にお問い合わせください。

保管にあたって

長時間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

！ ご注意

ゴム製品やビニール製品などと長時間接触させないでください。変色や変形の原因になります。

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら、修理を依頼される前に次の点をご確認ください。

それでも正常に動かないときは、お買いあげの販売店、またはもよりのお客様ご相談窓口にご連絡ください。

本機で使用している蛍光管には寿命があります。

画面が暗くなったり、チラついたり、点灯しないときは、専用の蛍光管ユニットの交換が必要です。お買いあげの販売店、またはもよりのお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

(ご自分ででの交換は絶対にしないでください。)

ご使用初期において、蛍光管の特性上、画面がチラつくことがあります(故障ではありません)。

その場合は、いったん電源を切り、電源を入れ直してご確認ください。

画面に何も表示されない(電源ランプ消灯)

電源コードが接続されていますか。(10 ページ)

画面に何も表示されない(電源ランプ点灯)

コンピュータと接続されていますか。(8、9 ページ)

コンピュータの電源が入っていますか。

信号の入力端子が正しく選択されていますか。(11 ページ)

「INPUT-2」が正しく設定されていますか。(17、19 ページ)

コンピュータの信号タイミングが本機の仕様に合っていますか。(24 ページ)

コンピュータの省電力機能が動作していませんか。

画面が乱れている

コンピュータの信号タイミングが本機の仕様に合っていますか。(24 ページ)

アナログ信号でお使いの場合、画面自動調整を行ってください。(14 ページ)

お使いのコンピュータで垂直周波数(リフレッシュレート)が変更できる場合は、低い周波数に変えてみてください。

ディスプレイ部が回転しない

正しい方向に回っていますか。(7 ページ)

ケーブルが引っ張られすぎていると回せません。

ディスプレイ部を回転しても表示の向きが変わらない
表示方向を切り替える操作が必要です。(31 ページ)

操作ボタンが効かない

調整ロックが設定されていませんか。(12 ページ)

音が聞こえない

オーディオケーブルが接続されていますか。(10 ページ)

音量調整を行ってください。(13 ページ)

ヘッドホンが接続されているときは、スピーカーの音は鳴りません。

本機がパワーセーブになっているときは、スピーカーの音は鳴りません。

アフターサービスについて

製品の保証について

この製品には保証書がついています。保証書は、販売窓口にて所定事項を記入してお渡しいたしますので、内容をよくお読みのうえ大切に保存してください。保証期間はお買いあげの日から1年間です(ただし、光源の蛍光管は消耗品ですので、保証の対象になりません)。保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

保証期間後の修理は、お買いあげの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。

補修用性能部品について

当社は、この液晶モニターの補修用性能部品を製造打切後、7年間保有しています。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品のことです。

修理を依頼されるときは

先に「故障かな？と思ったら」をお読みのうえ、もう一度お調べください。

それでも異常があるときは、使用をやめて、電源コードをコンセントから抜き、お買いあげの販売店、またはもよりのお客様ご相談窓口にご製品の「お持ち込み」のうえ、修理をお申し付けください。

ご自分ででの修理はしないでください。たいへん危険です。

アフターサービスについてわからないことは、お買いあげの販売店、またはもよりのお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

お客様ご相談窓口のご案内(次ページ)

お客様ご相談窓口のご案内

修理・お取り扱い・お手入れについてのご相談やご依頼は、お買いあげの販売店へご連絡ください。
 転居や贈答品などで保証書記載の販売店にご相談できない場合は、下記の窓口にご相談ください。

- ・製品の故障や部品のご購入に関するご相談は..... **修理相談窓口** へ
- ・製品のお取り扱い方法、その他ご不明な点は..... **お客様相談センター** へ

電話番号、所在地などは変わることがありますので、その節はご容赦願います。(2002年9月現在)

修理相談窓口

パソコン修理相談センター

<受付時間> 月曜日～土曜日：午前9時～午後6時 日曜日・祝日：午前10時～午後5時(年末年始を除く)

【パソコン修理相談センター】



0570-01-4649

ナビダイヤルは、全国どこからでも一律料金でご利用いただけます。
 呼出音の前に、NTTより通話料金の目安をお知らせいたします。
 (注)携帯電話・PHSからはナビダイヤルをご利用いただけません。
 下記一般電話番号におかけください。

携帯電話 / PHSの方は一般電話へ..... 東日本地区 043-351-1831 西日本地区 06-6792-5613

修理ご依頼品を直接お持ちいただく場合は、お買いあげの販売店、または下記修理受付窓口へお持ち込みください。

<受付時間> 月曜日～金曜日：午前9時～午後5時30分(土曜日・日曜日・祝日など弊社休日を除く)

担当地域	拠点名	郵便番号	所在地	担当地域	拠点名	郵便番号	所在地	
北海道	札幌	〒063-0801	札幌市西区二十四軒1条7丁目3-17	岐阜県	岐阜	〒500-8358	岐阜市六条南3-12-9	
	帯広	〒080-0011	帯広市西1条南26丁目19-1		三重県	三重	〒514-0102	津市栗真町屋町蒲池328
	室蘭	〒050-0074	室蘭市中島町1-9		富山県	富山	〒930-0906	富山市金泉寺71-1
	釧路	〒085-0051	釧路市光陽町8-13		石川県	金沢	〒921-8801	石川郡野々市町御塚塚町4-103
青森県	旭川	〒070-0031	旭川市一条通4丁目左10	福井県	福井	〒918-8206	福井市北四ツ居町625	
	函館	〒040-0001	函館市五稜郭町31-17	滋賀県	滋賀	〒520-2151	大津市栗林町11-35	
	青森	〒030-0121	青森市妙見3-3-4	京都府	京都	〒601-8102	京都市南区上鳥羽菅町48	
	弘前	〒036-8101	弘前市豊田3-5-1	北近畿	北近畿	〒620-0054	福知山市末広町6-13	
秋田県	八戸	〒031-0802	八戸市小中野2-8-16	大阪府	恵美須	〒556-0003	大阪市浪速区恵美須西1-2-9	
	秋田	〒010-0941	秋田市川尻大川反170-56		南大阪	南大阪	〒547-8510	大阪市平野区加美南3-7-19
	岩手	〒020-0891	紫波郡矢巾町流通センター南3-1-1		兵庫県	兵庫	〒597-0062	貝塚市沢1215
	釜石	〒026-0041	釜石市上中島町4-6-43		奈良県	奈良	〒563-0043	池田市神田1-32-27
宮城県	仙台	〒984-0002	仙台市若林区卸町東3-1-27	和歌山県	和歌山	〒658-0882	神戸市東灘区魚崎北町1-6-18	
	山形	〒990-2332	山形市飯田2-7-43		奈良県	奈良	〒671-2222	姫路市青山5-7-7
	酒田	〒998-0859	酒田市大町19-5		和歌山県	和歌山	〒639-1103	大和郡山市美瀬庄町492
	福島	〒963-0111	郡山市安積町荒井方八丁33-1		和歌山県	和歌山	〒641-0031	和歌山市西小二里2-4-91
新潟県	いわき	〒970-8033	いわき市自由ヶ丘37-10	鳥取県	鳥取	〒646-0001	田辺市稲成町80-2	
	新潟	〒950-0993	新潟市上中1-7-21		岡山県	岡山	〒680-0802	鳥取市青葉町2-204
	宇都宮	〒320-0833	宇都宮市不動前4-2-41		岡山県	岡山	〒701-0301	都窪郡早島町矢尾828
	群馬	〒371-0855	前橋市間屋町1-3-7		広島県	松江	〒690-0017	松江市西津田3-1-10
茨城県	茨城	〒310-0851	水戸市千波町1963	山口県	山口	〒731-0113	広島市安佐南区西原2-13-4	
	さいたま	〒330-0038	さいたま市宮原2-107-2		山口県	山口	〒739-0142	東広島市八本松東4-3-30
	江東	〒130-0011	東京都墨田区石原2-12-3		山口県	山口	〒720-0841	福山市津之郷町津之郷272-1
	城南	〒143-0025	東京都大田区南馬込1-5-15		山口県	山口	〒754-0024	吉敷郡小郡町若草町4-12
東京都	東京	〒114-0013	東京都北区東田端2-13-17	香川県	高松	〒744-0011	下松市西豊井173-1	
	多摩	〒191-0003	日野市日野台5-5-4		徳島県	徳島	〒760-0065	高松市朝日町6-2-8
	幕張	〒261-8520	千葉市美浜区中瀬1-9-2		徳島県	徳島	〒770-0813	徳島市中三島町3-11-14
	千葉	〒270-2231	松戸市総台295-1		高知県	高知	〒791-8036	松山市高岡町178-1
神奈川県	東千葉	〒289-2132	八日市場市高字東2779-4	福岡県	高知	〒780-8123	高知市高須960-1	
	木更津	〒292-0801	木更津市講西2-5-22		福岡県	福岡	〒816-0081	福岡市博多区井相田2-12-1
	横浜	〒235-0036	横浜市磯子区中原1-2-23		福岡県	福岡	〒839-0812	久留米市山川安原野3-12-47
	湘南	〒254-0013	平塚市田村1381		北九州	北九州	〒803-0814	北九州市小倉北区大手町6-12
山梨県	相模原	〒229-1122	相模原市横山2-2-12	長崎県	長崎	〒856-0817	大村市古賀島町613-3	
	山梨	〒400-0049	甲府市富竹2-1-17		大分県	大分	〒870-0913	大分市松原町3-5-3
	静岡	〒422-8006	静岡市曲金6-8-44		熊本県	熊本	〒862-0975	熊本市新屋敷3-15-17
	沼津	〒410-0062	沼津市宮前町11-4		宮崎県	宮崎	〒863-0021	本渡市港町19-3
長野県	浜松	〒430-0803	浜松市植松町1476-2	鹿児島県	宮崎	〒880-0007	宮崎市原町4-12	
	松本	〒399-0002	松本市芳野8-14		鹿児島県	鹿児島	〒890-0064	鹿児島市鴨池新町12-1
	長野	〒388-8014	長野市篠ノ井塩塚東田沢6877-1		鹿児島県	鹿児島	〒894-0035	小瀬市塩浜町8-1
	愛知	〒454-8721	名古屋市中川区山王3-5-5		沖縄県	那覇	〒900-0002	那覇市曙2-10-1
岡崎	〒444-0065	岡崎市柿田町1-21	先島	〒906-0013		平良市下里214-4		
豊橋	〒440-0086	豊橋市下地町橋口17-1						

お客様相談センター

<受付時間> 月曜日～土曜日：午前9時～午後6時 日曜日・祝日：午前10時～午後5時(年末年始を除く)

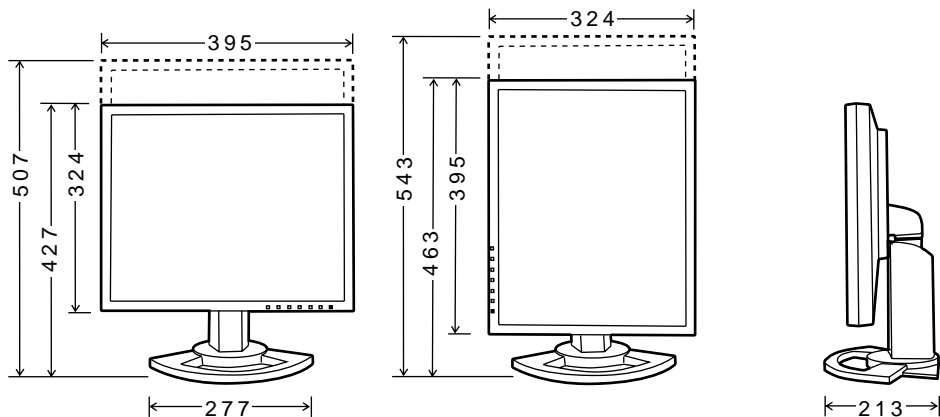
東日本相談室 電話 043-299-8021 FAX 043-299-8280 〒261-8520 千葉県千葉市美浜区中瀬1-9-2
 西日本相談室 電話 06-6794-8021 FAX 06-6792-5993 〒581-8585 大阪府八尾市北尾井町3-1-72

仕様

製品仕様

液晶表示素子	18.1 型(対角 46cm) TFT カラー液晶
最大解像度	SXGA 1280 × 1024
最大表示色	約 1677 万色(8 ビット)
画素ピッチ	水平 0.2805mm × 垂直 0.2805mm
最大輝度	250cd/m ²
コントラスト比	350 : 1
視野角	左右 160° / 上下 160°
表示画面サイズ	横 359mm × 縦 287.2mm
入力映像信号	アナログ : アナログ RGB(0.7Vp-p) [75], デジタル : DVI 規格 1.0 準拠
入力同期信号	水平 / 垂直セパレート(TTL : 正 / 負)、シンク・オン・グリーン、 コンポジットシンク(TTL : 正 / 負)
拡大補正	デジタルスケーリング(VGA/SVGA/XGA 等を SXGA に補正して拡大表示) [拡大しない / アスペクト比(縦横比)固定での拡大 / 全画面拡大]
プラグ & プレイ	VESA DDC2B 対応
パワー・マネージメント	VESA DPMS 準拠、DVI DMPM 準拠
入力端子	アナログ : 15 ピン ミニ D-sub (3 列) デジタル : DVI-I 29 ピン
スピーカー出力	1W + 1W
音声入力端子	3.5mm ミニステレオジャック
ヘッドホン出力端子	3.5mm ミニステレオジャック
高さ調整	調節範囲約 80mm
画面回転	時計回りに 0° ~ 90°
画面角度調整	チルト : 上向きに 0° ~ 約 30° / 下向きに 0° ~ 約 5° スイーベル : 左右に合わせて約 90°
電源	AC100V 50/60Hz
使用温度条件	5 ~ 35
消費電力	51W(音声入力なし)、最大 55W、待機時 5W
外形寸法	画面横長時 : 幅 395mm × 奥行 213mm × 高さ 427 ~ 507mm 画面縦長時 : 幅 324mm × 奥行 213mm × 高さ 463 ~ 543mm
質量	約 8.7kg (ディスプレイ部のみ約 5.5kg)

外形寸法図 (単位 mm)



付属のケーブルの長さ
アナログ信号ケーブル : 約 1.8m
電源コード : 約 2.0m
オーディオケーブル : 約 2.0m

別売のケーブルの長さ
デジタル信号ケーブル NL-C01J : 約 2.0m
アナログ信号ケーブル NL-C02J : 約 2.0m
2入力用ケーブル NL-C03J : 約 0.25m

対応信号タイミング

表示モード		水平周波数	垂直周波数	ドット周波数	アナログ	デジタル
VESA ・ IBM AT 互換機 ・ PC-9800 シリーズ	640 × 480	31.5kHz	60Hz	25.175MHz		
		37.9kHz	72Hz	31.5MHz		
		37.5kHz	75Hz	31.5MHz		
		43.3kHz	85Hz	36.0MHz		-
	640 × 400	37.9kHz	85Hz	31.5MHz		-
	720 × 400	37.9kHz	85Hz	35.5MHz		-
		800 × 600	35.1kHz	56Hz	36.0MHz	
	1024 × 768	37.9kHz	60Hz	40.0MHz		
		48.1kHz	72Hz	50.0MHz		
		46.9kHz	75Hz	49.5MHz		
		53.7kHz	85Hz	56.25MHz		-
	1152 × 864	48.4kHz	60Hz	65.0MHz		
		56.5kHz	70Hz	75.0MHz		
		60.0kHz	75Hz	78.75MHz		
68.7kHz		85Hz	94.5MHz		-	
1280 × 960	67.5kHz	75Hz	108.0MHz			
1280 × 1024	60.0kHz	60Hz	108.0MHz			
	64.0kHz	60Hz	108.0MHz			
	80.0kHz	75Hz	135.0MHz		-	
US TEXT	720 × 400	31.5kHz	70Hz	28.3MHz		
PC-9800シリーズ	640 × 400	31.5kHz	70Hz	25.175MHz		
Power Macintosh シリーズ	640 × 480	35.0kHz	66.7Hz	30.2MHz		-
	832 × 624	49.7kHz	74.6Hz	57.3MHz		-
	1024 × 768	60.2kHz	75Hz	80.0MHz		-
	1152 × 870	68.7kHz	75Hz	100.0MHz		-
	1280 × 1024	64.0kHz	60Hz	108.0MHz		-
80.0kHz		75Hz	135.0MHz		-	
Sun Ultra シリーズ	1024 × 768	48.3kHz	60Hz	64.13MHz		-
		53.6kHz	66Hz	70.4MHz		-
		56.6kHz	70Hz	74.25MHz		-
	1152 × 900	61.8kHz	66Hz	94.88MHz		-
		71.8kHz	76.2Hz	108.23MHz		-
	1280 × 1024	71.7kHz	67.2Hz	117.01MHz		-
81.1kHz		76Hz	134.99MHz		-	

推奨解像度は、1280 × 1024 です。

すべてノンインターレースのみの対応です。

Power Macintosh シリーズ、Sun Ultra シリーズの各周波数は、参考値です。また、本機との接続には、市販の変換アダプターが必要になることがあります。

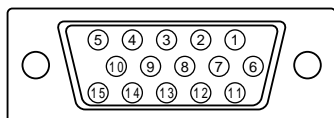
デジタル接続の場合、DVI 準拠の出力端子(DVI-D24 ピンまたは DVI-I29 ピン)を持ち SXGA 出力が可能なコンピュータと接続できます。(接続するコンピュータによっては正しく表示されないことがあります。)

本機で対応していない信号タイミングが入力されたときには、「OUT OF TIMING」と表示されます。その場合、ご使用のコンピュータの取扱説明書にもとづき、本機で対応している信号タイミングに設定してください。

本機に何も信号(同期信号)が入力されない場合、「NO SIGNAL」と表示されます。

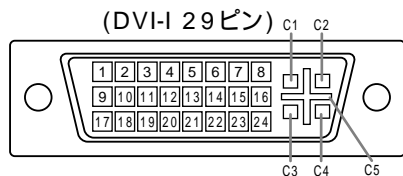
アナログ信号入力端子のピン配列

ミニD-subコネクタ 15ピン



番号	機 能	番号	機 能	番号	機 能
1	赤映像信号入力	6	赤映像信号用GND	11	GND
2	緑映像信号入力	7	緑映像信号用GND	12	DDCデータ
3	青映像信号入力	8	青映像信号用GND	13	水平同期信号入力
4	GND	9	DDC+5V	14	垂直同期信号入力
5	GND	10	N.C.	15	DDCクロック

DVI-I 入力端子のピン配列



番号	機 能	番号	機 能
1	TMDSデータ2 -	16	ホットプラグ検知
2	TMDSデータ2 +	17	TMDSデータ0 -
3	TMDSデータ2/4シールド	18	TMDSデータ0 +
4	N.C.	19	TMDSデータ0/5シールド
5	N.C.	20	N.C.
6	DDCクロック	21	N.C.
7	DDCデータ	22	TMDSクロックシールド
8	アナログ垂直同期信号	23	TMDSクロック +
9	TMDSデータ1 -	24	TMDSクロック -
10	TMDSデータ1 +	C1	アナログ赤映像信号
11	TMDSデータ1/3シールド	C2	アナログ緑映像信号
12	N.C.	C3	アナログ青映像信号
13	N.C.	C4	アナログ水平同期信号
14	+5V	C5	アナログGND
15	GND		

パワーマネージメント

本機は、VESA DPMS、DVI DMPM、Energy Star に準拠しています。

本機のパワーマネージメント機能を動作するためには、ビデオカードやコンピュータも同規格に適合している必要があります。

DPMS : Display Power Management Signaling

DPMSモード	画面	消費電力	水平同期	垂直同期
ON STATE	表示	51W*	あり	あり
STANDBY	無表示	5W	なし	あり
SUSPEND			あり	なし
OFF STATE			なし	なし

*音声入力なし

DMPM : Digital Monitor Power Management

DMPMモード	画面	消費電力
Monitor ON	表示	51W*
Active OFF	無表示	5W

*音声入力なし

Energy Star :



当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。『国際エネルギースタープログラムは、コンピュータをはじめとしたオフィス機器の省エネルギー化推進のための国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により参加することができる任意制度となっています。対象となる製品はコンピュータ、ディスプレイ、プリンタ、ファクシミリおよび複写機等のオフィス機器で、それぞれの基準ならびにマーク(ロゴ)は参加各国の間で統一されています。』

DDC(プラグ&プレイ)

本機は、VESAのDDC(Display Data Channel)規格をサポートしています。

DDCとは、モニターとパソコンのプラグ&プレイを行うための信号規格です。モニターとパソコンの間で解像度などに関する情報を受け渡します。この機能は、パソコンがDDCに対応しており、プラグ&プレイモニターを検出する設定になっている場合に使用できます。

DDCには、通信方式の違いによりいくつかの種類があります。本機は、DDC2Bに対応しています。

セットアップ情報とICCプロファイルについて(Windows)

ご使用のコンピュータやOSによっては、コンピュータ側で本機のセットアップ情報の格納等の操作が必要になることがあります。その場合は、下記の手順でセットアップ情報の格納を行ってください。(ご使用のコンピュータやOSによっては、名称・操作方法が異なることがあります。コンピュータの取扱説明書と併せてお読みください。)

ICCプロファイルとは...

ICC(インターナショナル カラー コンソーシアム)プロファイルは、液晶モニターの色再現特性を記述したファイルです。ICCプロファイルに対応したアプリケーションで高い色再現性を実現します。

ICCプロファイルは、Windows98/2000/Me/XPに対応しています。

Windows98/2000/Me/XPでセットアップ情報の格納を行うと、ICCプロファイルも格納されます。ICCプロファイルだけを格納したいときは、28ページの「ICCプロファイルの格納について」をご覧ください。

ICCプロファイルを使用する場合は、「COLOR MODE」と「WHITE BALANCE」を「STD」に、「GAMMA」を「0」に設定してください。

セットアップ情報の格納

Windows95の場合

Windows95に本機のセットアップ情報を格納します。

CD-ROMドライブを「Dドライブ」として説明します。

1. 付属のCD-ROMをコンピュータのCD-ROMドライブにセットする。
2. 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」から「コントロールパネル」を選ぶ。
3. 「画面」をダブルクリックする。
4. 「ディスプレイの詳細」、「詳細プロパティ」、「モニター」、「変更」の順にクリックする。
デバイスの選択画面が表示されます。
5. 「ディスク使用」をクリックし、「配布ファイルのコピー元」を「D:¥」にして「OK」をクリックする。
6. 表示された一覧から本機を選び、「OK」をクリックする。
7. 本機が表示されていることを確認して、「更新」をクリックする。
8. 「OK」をクリックして、ウィンドウを閉じる。
9. CD-ROMをCD-ROMドライブから取り出す。

Windows98の場合

Windows98に本機のセットアップ情報を格納し、本機のICCプロファイルを既定値として設定します。CD-ROMドライブを「Dドライブ」として説明します。

【新しいハードウェアの追加ウィザードが表示された場合】

1. 付属のCD-ROMをコンピュータのCD-ROMドライブにセットする。
2. 「次へ」をクリックする。
3. 「特定の場所にあるすべてのドライバの一覧を作成し、インストールするドライバを選択する」をチェックし、「次へ」をクリックする。
4. 「モデル」が表示されたら「ディスク使用」をクリックし、「配布ファイルのコピー元」を「D:¥」にして「OK」をクリックする。
5. 表示された一覧から本機を選び、「次へ」、「次へ」、「完了」の順にクリックする。
新しいハードウェアの追加ウィザードが表示された場合は、もう一度2.から操作してください。
6. CD-ROMをCD-ROMドライブから取り出す。

【新しいハードウェアの追加ウィザードが表示されなかった場合】

1. 付属のCD-ROMをコンピュータのCD-ROMドライブにセットする。
2. 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」から「コントロールパネル」を選ぶ。
3. 「画面」をダブルクリックする。
4. 「設定」、「詳細」、「モニター」の順にクリックする。
5. 「オプション」内の「プラグ アンド プレイ モニタを自動的に検出する」をチェックし、「変更」をクリックする。
6. 「次へ」をクリックする。
7. 「特定の場所にあるすべてのドライバの一覧を作成し、インストールするドライバを選択する」をチェックし、「次へ」をクリックする。
8. 「モデル」が表示されたら「ディスク使用」をクリックし、「配布ファイルのコピー元」を「D:¥」にして「OK」をクリックする。
9. 表示された一覧から本機を選び、「次へ」、「次へ」、「完了」の順にクリックする。
10. 本機が表示されていることを確認し、「適用」をクリックする。
11. 「OK」をクリックして、ウィンドウを閉じる。
12. CD-ROMをCD-ROMドライブから取り出す。

Windows2000 の場合

Windows2000 に本機のセットアップ情報を格納し、本機の ICC プロファイルを既定値として設定します。CD-ROM ドライブを「D ドライブ」として説明します。

1. 付属の CD-ROM をコンピュータの CD-ROM ドライブにセットする。
2. 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」から「コントロールパネル」を選ぶ。
3. 「画面」をダブルクリックする。
4. 「設定」、「詳細」、「モニタ」の順にクリックする。
5. 「プロパティ」、「ドライブ」、「ドライブの更新」の順にクリックする。
6. 「デバイスドライバのアップグレードウィザードの開始」が表示されたら「次へ」をクリックする。
7. 「このデバイスの既知のドライバを表示して、その一覧から選択する」をチェックし、「次へ」をクリックする。
8. 「モデル」が表示されたら「ディスク使用」をクリックし、「製造元のファイルのコピー元」を「D:¥」にして「OK」をクリックする。
9. 表示された一覧から本機を選び、「次へ」をクリックする。
10. 「次へ」をクリックし、モニタ名に本機が表示されていることを確認し、「完了」をクリックする。
「デジタル署名が見つかりませんでした」と表示された場合は、「はい」をクリックしてください。
11. 「閉じる」をクリックして、「画面のプロパティ」を閉じる。
12. 「OK」をクリックして、ウィンドウを閉じる。
13. CD-ROM を CD-ROM ドライブから取り出す。

WindowsMe の場合

WindowsMe に本機のセットアップ情報を格納し、本機の ICC プロファイルを既定値として設定します。CD-ROM ドライブを「D ドライブ」として説明します。

【新しいハードウェアの追加ウィザードが表示された場合】

1. 付属の CD-ROM をコンピュータの CD-ROM ドライブにセットする。
2. 「ドライバの場所を指定する」をチェックし、「次へ」をクリックする。
3. 「特定の場所にあるすべてのドライバの一覧を表示し、インストールするドライバを選択する」をチェックし、「次へ」をクリックする。
4. 「モデル」が表示されたら「ディスク使用」をクリックし、「製造元ファイルのコピー元」を「D:¥」にして「OK」をクリックする。
5. 表示された一覧から本機を選び、「次へ」、「次へ」、「完了」の順にクリックする。
新しいハードウェアの追加ウィザードが表示された場合は、もう一度 2. から操作してください。
6. CD-ROM を CD-ROM ドライブから取り出す。

【新しいハードウェアの追加ウィザードが表示されなかった場合】

1. 付属の CD-ROM をコンピュータの CD-ROM ドライブにセットする。
2. 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」から「コントロールパネル」を選ぶ。
3. 「画面」をダブルクリックする。
4. 「設定」、「詳細」、「モニタ」の順にクリックする。
5. 「オプション」内の「プラグ アンド プレイ モニタを自動的に検出する」をチェックし、「変更」をクリックする。
6. 「ドライバの場所を指定する」をチェックし、「次へ」をクリックする。
7. 「特定の場所にあるすべてのドライバの一覧を表示し、インストールするドライバを選択する」をチェックし、「次へ」をクリックする。
8. 「モデル」が表示されたら「ディスク使用」をクリックし、「製造元ファイルのコピー元」を「D:¥」にして「OK」をクリックする。
9. 表示された一覧から本機を選び、「次へ」、「次へ」、「完了」の順にクリックする。
10. 本機が表示されていることを確認し、「適用」をクリックする。
11. 「OK」をクリックして、ウィンドウを閉じる。
12. CD-ROM を CD-ROM ドライブから取り出す。

WindowsXP の場合

WindowsXP に本機のセットアップ情報を格納し、本機の ICC プロファイルを既定値として設定します。CD-ROM ドライブを「D ドライブ」として説明します。

1. 付属の CD-ROM をコンピュータの CD-ROM ドライブにセットする。
2. 「スタート」ボタンをクリックし、「コントロールパネル」を選ぶ。
3. クラシック表示にする。
4. 「画面」をダブルクリックする。
5. 「設定」、「詳細設定」、「モニタ」の順にクリックする。
6. 「プロパティ」、「ドライバ」、「ドライバの更新」の順にクリックする。
7. ハードウェアの更新ウィザードが表示されたら、「一覧または特定場所からインストールする」をチェックし、「次へ」をクリックする。
8. 「検索しないで、インストールするドライバを選択する」をチェックし、「次へ」をクリックする。
9. 「ディスク使用」をクリックし、「製造元のファイルのコピー元」を「D:¥」にして「OK」をクリックする。
10. 表示された一覧から本機を選び、「次へ」をクリックする。
11. モニタ名に本機が表示されていることを確認し、「完了」をクリックする。
「Windows ロゴテストに合格していません...」と表示された場合は、「続行」をクリックしてください。
12. 「閉じる」をクリックして、「画面のプロパティ」を閉じる。
13. 「OK」をクリックして、ウィンドウを閉じる。
14. CD-ROM を CD-ROM ドライブから取り出す。

ICC プロファイルの格納

本機の ICC プロファイルを格納します。(セットアップ情報の格納を行った場合は、プロファイルの格納も行われていますので、この操作は不要です。)

CD-ROM ドライブを「D ドライブ」として説明します。

1. 付属の CD-ROM をコンピュータの CD-ROM ドライブにセットする。
2. 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」から「コントロールパネル」を選ぶ。
3. 「画面」をダブルクリックする。
4. 「設定」、「詳細」の順にクリックする。
5. 「全般」をクリックし、「互換性」内の「再起動しないで新しい色の設定を適用する」を選び、「色の管理」をクリックする。
6. 「追加」をクリックし、ファイルの場所を CD-ROM にする。
7. インストールしたい「カラープロファイル」を選び、「追加」をクリックする。
8. プロファイルを選び、「規定値として設定」をクリックする。
9. 「OK」をクリックしてウィンドウを閉じる。
10. CD-ROM を CD-ROM ドライブから取り出す。

ICC プロファイルを使用する場合は、「COLOR MODE」と「WHITE BALANCE」を「STD」に、「GAMMA」を「0」に設定してください。

ColorSync プロファイルについて(MacOS)

ColorSync プロファイルとは...

ColorSync はアップル社のカラーマネージメントシステムで、対応したアプリケーションで色再現性を実現するための機能です。ColorSync プロファイルには液晶モニターの色再現特性を記述しています。

本機の ColorSync プロファイルは、MacOS 8.5 以降に対応しています。

ColorSync プロファイルを使用する場合は、「COLOR MODE」と「WHITE BALANCE」を「STD」に、「GAMMA」を「0」に設定してください。

ColorSync プロファイルの設定方法

システムに「PC Exchange」または「File Exchange」がインストールされている必要があります。

ご使用のコンピュータや OS によっては、名称・操作方法が異なることがあります。コンピュータの取扱説明書と併せてお読みください。

1. 付属の CD-ROM をコンピュータの CD-ROM ドライブにセットする。
2. アプリケーションディスクの使用するプロファイルを、システムフォルダ内の ColorSync プロファイルフォルダにコピーする。
3. コントロールパネルの ColorSync で、使用するプロファイルを選ぶ。

VESA 規格準拠アームの取り付けかた

VESA 規格に準拠した市販のアーム等を取り付けることができます。アーム等は、お客様でご用意ください。

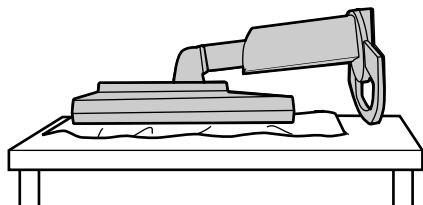
本機に取り付けるアーム等は、以下の点に注意してお選びください。

- ・ VESA 規格に対応し、モニターに取り付ける部分のビス穴間隔が 100mm × 100mm のもの
- ・ モニターを取り付けても、外れたり、倒れたりしないもの

ケーブルを無理に曲げたり、ケーブルに力が加わらないようにしてください。断線などの故障の原因になります。

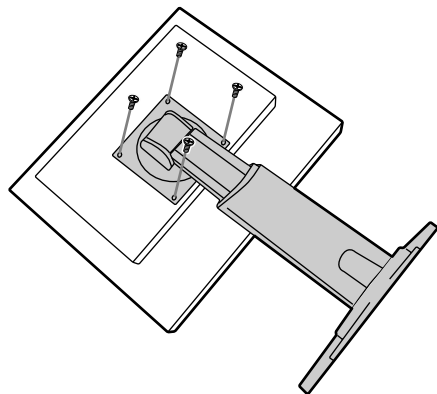
本書とともに、アーム等に付属の説明書もよくお読みください。

1. ケーブルを取り外す。
2. 安定した水平な机などの上に、柔らかい布などを敷く。
3. モニターを傷つけないように、表示部を下向きにして静かに置く。



注意 ディスプレイ部とスタンド部の両方をしっかりと持って、静かに倒してください。本機を傾けると、スタンドが急に伸びて、けがの原因になることがあります。

4. ビス(4本)を外して、スタンドを外す。



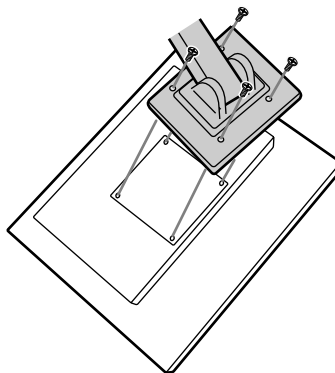
スタンドは、本機専用です。取り外したスタンドは、他の機器で使用しないでください。

取り外したビスは、スタンドとともに保管し、スタンドに戻すときは、必ず元のビスを使用してください。別のビスを使用すると、故障などの原因になります。



注意 スタンドを分解しないでください。部品が飛び出して、けがの原因になることがあります。

5. アーム等をビス(4本)で固定する。



固定用のビスは、アームの取り付け面からの長さが 6 ~ 8mm の M4 を使用してください。指定以外のビスを使用すると、脱落や、モニター内部の破損の原因になります。

6 ~ 8mm



アーム固定用ビス

アーム

モニターのアーム取り付け部

Pivot Software(縦長表示 / 横長表示)について

ディスプレイ部を回転して使用する場合、表示の向きは Pivot Software を利用して切り替えます。

本機に付属の Pivot Software(試供版)の対応 OS :
Windows98/2000/Me/XP
Macintosh OS 8.X ~ 9.1
対応 OS であっても、ご使用のグラフィックアクセラレータによっては使用できないことがあります。

Pivot Software 製品情報・お問い合わせ等 :
Portrait Displays, Inc.
(<http://www.portrait.com>)

Pivot Software(試供版)のインストールのしかた

Windows の場合


1. 使用中のすべてのアプリケーションを終了する。
2. 付属の CD-ROM をコンピュータの CD-ROM ドライブにセットする。
3. 「マイコンピュータ」の CD-ROM を開く。
4. 「Pivot」フォルダをダブルクリックする。
5. 「SETUP.exe」をダブルクリックする。
6. 「次へ」をクリックする。
7. 「ライセンス契約に同意します」を選ぶ。
8. 「次へ」をクリックする。
9. お客様情報「ユーザー名」「会社名」を入力する。
10. 「次へ」をクリックする。
11. 「インストール」をクリックする。
インストールが開始されます。
12. インストールの終了メッセージが表示されたら、「次へ」をクリックする。
13. 「完了」をクリックする。
14. 「はい」をクリックして、コンピュータを再起動する。

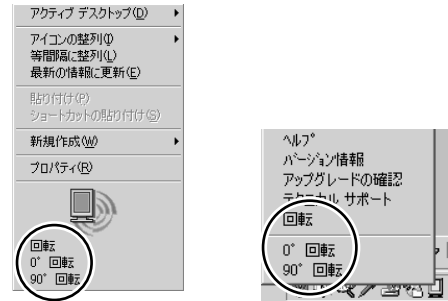
Macintosh の場合

1. 使用中のすべてのアプリケーションを終了する。
2. 付属の CD-ROM をコンピュータの CD-ROM ドライブにセットする。
3. CD-ROM を開く。
4. 「Pivot」フォルダをダブルクリックする。
5. 「Japanese」フォルダをダブルクリックする。
6. 「Install MacPortrait」をダブルクリックする。
7. 「MacPortrait Install」アイコンを任意のディスク上にドラッグする。
インストールが開始されます。
8. インストールの完了メッセージが表示されたら、「再起動」をクリックする。

表示方向の切り替えかた

Windows の場合

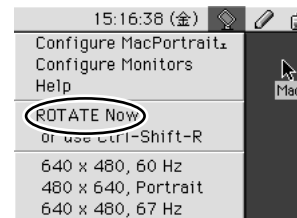
マウスを右クリックするか、画面右下の「」を左クリックして、「回転」、「0° 回転」、「90° 回転」のいずれかを選びます。



回転 表示方向が切り替わります。
0° 回転 横長表示になります。
90° 回転 縦長表示になります。

Macintosh の場合

画面右上の「」から「ROTATE Now」を選びます。



「ROTATE Now」を選ぶごとに、表示方向が切り替わります。

? Memo

表示方向に合わせてのディスプレイ部の回転は、手動で行います。(7 ページ)
調整メニューの表示方向は、「MODE SELECT-2」メニューの「OSD PIVOT」で切り替えます。(17、19 ページ)

製品についてのお問い合わせは

お客様相談センター	東日本相談室	TEL 043-299-8021	FAX 043-299-8280
	西日本相談室	TEL 06-6794-8021	FAX 06-6792-5993

《受付時間》 月曜～土曜：午前9時～午後6時 日曜・祝日：午前10時～午後5時（年末年始を除く）

修理のご相談は

22ページ記載の『お客様ご相談窓口のご案内』をご参照ください。

シャープホームページ

<http://www.sharp.co.jp/lcdmonitor/>

(2002年9月現在)

シャープ株式会社

本社 〒545-8522 大阪市阿倍野区長池町22番22号
情報システム事業本部 〒639-1186 奈良県大和郡山市美濃庄町492番地

02K DSC2
(TINSJ1041MPZZ)